

郷土学習セット「3-3高校生向け 原爆・平和学習」から6冊を紹介します。

3	<p>『あの日… 『ヒロシマ・ナガサキ 死と生の証言』より』</p> <p>日本原水爆被害者団体協議会 ／編 新日本出版社</p>	<p>被爆40年後の「原爆被害者調査」に寄せられた証言のうち、広島、長崎で直接被爆、入市被爆した、被爆当時小学生だった人から四十代の人々の証言が数多くとりあげられています。被爆の実相を多くの人びとに知ってもらいたいとの願いが込められています。</p>	
7	<p>『ナガサキに翔ぶ ふりそでの少女像を つくった中学生たち』</p> <p>山脇 あさ子／著 新日本出版社</p>	<p>長崎で原爆の犠牲になり、ふりそでを着て茶毘に付された福留美奈子さんの母福留志なさんと、戦後50年経って交流をはじめた京都の中学生が「ふりそでの少女像をつくる会」を結成しました。平和を願い活動する中学生のお話です。</p>	
16	<p>『核兵器はいらない！ 知っておきたい基礎知識』</p> <p>沢田昭二／著 新日本出版社</p>	<p>被爆者であり、物理学者である著者は、核兵器をなくす取り組みにも参加してきました。この本は、原爆はどのようにしてつくられたのか。原爆被害とはどんなものか。水爆について。核兵器をなくす運動がどのようにとりくまれてきたかなどがまとめられています。</p>	
18	<p>『原爆を見た聞こえない 人々 長崎からの手話 証言』</p> <p>長崎県ろうあ福祉協会／編 全国手話通訳問題研究会長崎 支部／編 文理閣</p>	<p>長崎市に原爆が投下されたとき、聞こえないというハンディーを持った人々も被爆しました。この本は手話を通して被爆後40年から聞き取りを行い被爆後50年経って出版されました。原爆を見た聞こえない人々の16の体験が詰まっています。</p>	
19	<p>『原爆遺構 長崎の記 憶』 新版</p> <p>長崎の原爆遺構を記録する会 ／編 海鳥社</p>	<p>原爆が投下されたとき、被爆したのは人間だけではなく、爆心地である浦上地区の学校、工場、住居などの建造物、樹木や植物が破壊されただけでなく、爆風による投壊、熱線による火災で4.7平方キロ以上が損傷しました。この本は原爆遺構とともに、原爆にまつわる街の歴史を紹介しています。</p>	
26	<p>『広島長崎修学旅行案内』 新版 (岩波ジュニア新書)</p> <p>松元 寛／著 岩波書店</p>	<p>広島、長崎の原爆遺構や記念碑、原爆資料館に展示された資料を説明するだけでなく、そこにどのような歴史があったのか、被爆者はどのような思いで生活していたのか詳しく書かれています。広島、長崎を旅した後に、戦争について、平和についてどのように考えていけばよいか考えさせられる1冊です。</p>	

